

# シリーズ「グローバル・ジャスティス」 第63回

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

## ベーシック・インカム論争 ベーシックインカムから普遍的給付へ

脱工業化やITの普及による雇用の減少や不安定化にともない、あらためてベーシック・インカムへの関心が高まっている。ベーシック・インカムとは、仕事に就いていようとまいと、すべての人に対して生活の土台となる基本的所得を公的に保障する制度である。このように雇用と収入を切り離す社会保障の構想は、ここに来て突然登場した訳ではない。フランスでは、1980年代以降、左右のあらゆる政権のもとで、従来の社会保障制度の再編という形で、ゆるやかに導入されてきたものである。

この講演では、ベーシック・インカムをめぐる論争状況を踏まえた上で、ネオリベラルな原理に基づくアングロサクソン型モデルに対し、もう一つの普遍的給付の可能性について考える。

## Bernard Friot氏

パリ・ナンテール大学の名誉教授、経済学者、社会学者。その業績は社会保障に関するもの、また、より幅広く、20世紀にヨーロッパで生まれた賃金労働による社会体制を扱ったものになる。IDHESの研究者である彼は、その賃金労働ヨーロッパ研究所([www.ies-salariat.org](http://www.ies-salariat.org))のメンバーでもある。その中でも特に、「価値・労働・賃金研究グループ」のメンバーとなっている。

著作物には、『賃金の代償』(L'enjeu du salaire)、『賃金労働の力』(Puissances du salariat)、『労働を解放する』(Émanciper le travail)などがある。



仏日逐次通訳つき

同志社大学  
グローバル・スタディーズ研究科

Tel: 075-251-3930

E-mail: [ji-gs@mail.doshisha.ac.jp](mailto:ji-gs@mail.doshisha.ac.jp)

後援: Français du monde adfe Japon de l'ouest

日時: 2019年5月11日(土)14:30-16:30

会場: 同志社大学烏丸キャンパス

志高館 SK118教室

入場無料・申込不要